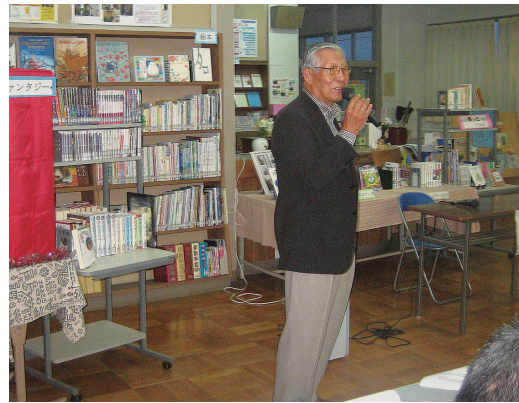


神社地区 まちづくり協議会だより

第2号

平成 25 年 8 月 1 日



25年度総会 会長あいさつ

神社地区まちづくり協議会が発足し、一年が経過しました。この一年間、「神社地区まちづくり計画―五輪の和―」を策定する一方「神社地区は走りながら考える」スタイルを実践活動してまいりました。（活動内容後掲）

本年度はさらに中身の濃い活動に取り組みたいとスタッフ一同知恵をしばっております。

長期的には

- * 防災・防犯体制の確立
- * 幼保一体化施設の設置
- * 高齢者にやさしいまち
- * 健康で笑顔あふれるまち

等を大きな目標として検討・具現化したいと考えております。

そのためには、地域活動の核として住民の皆さまには一番身近な自治会、そして各種の団体との密接な連携、協力を重視し広い人材の参加を得て、共に考え共に歩んで行きたいと考えております。

目的にかなった活動ができるよう、また、活気ある住みよい地域づくりができるように、幅広くいろいろな立場の人のご意見をいただきながら推進して行きます。

今後とも地域の皆さまの一層のご理解、ご協力、ご支援を宜しくお願します。

会長 福田 茂

二年目を迎えたまちづくりの
進むべき道



神社小学校屋上での避難体験

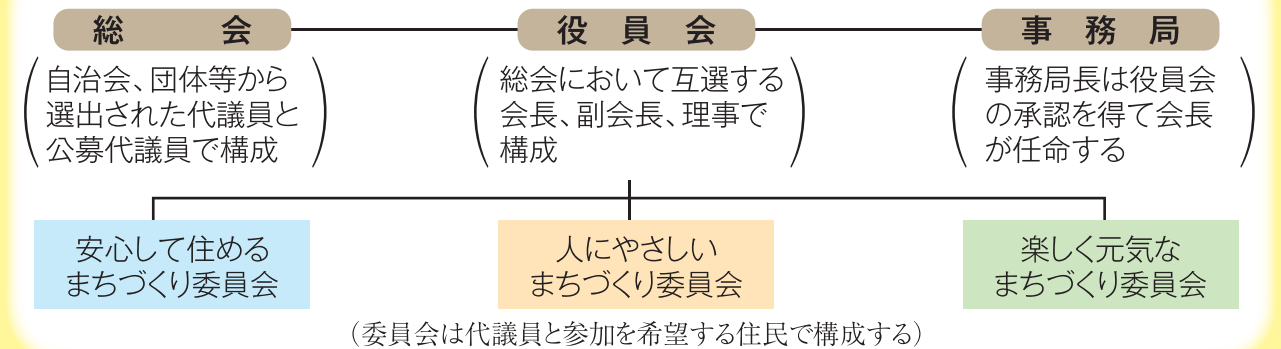
◎二年目に向けて◎

昨年、発足したまちづくり協議会はず、まちづくり計画を策定する一方、一部事業に着手し、一周年目の5月29日には、総会を開き、24年度事業、決算承認、新年度事業計画、予算等の審議を行いました。

また、この日、代議員体制についても改正案が審議されました。

役員については、会長はじめ概ね留任とし、代議員については、各地区の老人会代表、公募委員を増員しました。

協議会の組織は



まちづくり協議会は役員や代議員だけで動かすものではありません。できる限り、多くの方の参加で活動の輪を拡げましょう。

古くからこの地域にお住まいの方には、言い伝えや貴重な体験、伝統を教えてください、また新しく住まれた方には、違った視点からの提案をしていただき、協議会のパワーアップのため、お力添えください。

委員会活動へ新たに参加希望される方はいつでも結構です。事務局へご一報ください。

まちづくり活動へのご支援を



25年度総会

平成25年度役員体制

役 職	氏 名	選出団体名等
会 長	福田 茂	神社港自治会
副 会 長	神生 修 鈴木 豊司	竹ヶ鼻自治会 公 募
会 計	太地 哲成	公 募
理 事	安田 千代	神社港自治会
	出口 勉	竹ヶ鼻町自治会
	中北 邦夫	馬瀬町町内会
	竹内 弘武	下野町自治会
	中北 博	安心して住めるまちづくり委員会委員長
	鈴木 宏明	人にやさしいまちづくり委員会委員長
監 事	中北 善明	楽しく元気なまちづくり委員会委員長
	中川 清	小 木 町
事務局 長	浦野 卓久	馬瀬町町内会
	西井 弘紀	下 野 町

神社地区まちづくり協議会事務所



神社地区まちづくり協議会

〒516-0004 伊勢市神社港241-1
TEL : 0596-65-7145 FAX : 65-7146
Eメール : kamimachi@abelia.ocn.ne.jp
事務所開所日時 原則 月・水・金曜日
午前9時から午後3時

ともかくみんなが心もからだも健康で、気軽に参加し、語り合える事業をやるうということが一番手にあげられたのが「健康増進講

楽しく元気な
まちづくり委員会



三世代でビンゴゲーム大会

事業の最後には、校舎に設置された津波避難用階段を使って避難体験してもらいました。



山川先生による講演会

座」の開催でした。
1月末の厳しい寒さの中、馬瀬町公民館において、約90人の参加者を迎え、地元の医師山川伸隆先生による「脳卒中ってどんな病気」と題する高齢者にとって関心の高いお話を聞かせていただきました。
当日のアンケートでは健康の話と健康体操と一緒に受けたという希望が多く出されました。

代議員のみなさんをご紹介します(順不同)

団 体 名 等	代 議 員 名
自 治 会・町 内 会 (25)	(神 社 港) 安田千代、大西 優、中屋 隆、福田 茂、山本 董
	(竹ヶ鼻町) 神生 修、井村 勤、柿本隆宏、出口 勉、松本みのり
	(小 木 町) 道端長七、中北 博、中川 清、中川浩樹、三島美佳
	(馬 瀬 町) 浦野卓久、中北興一、堀佐登司、中北邦夫、林 卓生
	(下 野 町) 竹内弘武、伊藤文典、大田滋孝、杉山 滋、鈴木宏明
小 中 学 校 P T A	(神社小学校) 向井重雄、(港中学校) 菊川 聡
小 中 学 校 長	(神社小学校) 光田 学、(港中学校) 中村 孝
民 生・児 童 委 員	村上純孝、古川香春子
消 防 団	河原清美
老 人 ク ラ ブ (5)	木下 茂、中村 清、(中川 清)、中川 洋、下林保夫
ス ポ ー ツ 振 興 会	中北善明
N P O・ボランティア団体	(神社みなとまち再生グループ) 中西恒壽
事 業 者	(交 商 会) 中川直人、(下野工場団地組合) 藤村喜成
公 募 者	佐藤千恵子 (小)、清水裕子 (竹)、鈴木豊司 (下)、太地哲成 (下)、西 高秋 (馬)、野口 董 (神)、山岡博久 (竹)

約半年間の協議を経て、12月10日には臨時総会を開き、「神社地区まちづくり計画―五輪の和―」を決定し、計画書を全戸配布しました。



計画づくりの討議

平成24年6月30日の全体会議を皮切りに、月1回強のペースで全体会を開催し、部門別計画は各委員において討議し、委員会ごとの意見交換会を開き、まちづくり計画策定に取り組みました。

計画づくり



危険箇所実地調査 (1)

安心して暮らせるまちづくりに向け、基本目標「交通ルールが守

安心して住める
まちづくり委員会

発足の年
24年度の
事業活動



危険箇所実地調査 (2)

られ事故のないまち」を実現するため、まず最初に地域のヒヤリハット図づくりに着手しました。
あらかじめ選定された地域内の危険箇所及び小学校通学路を委員が自転車でもわり、実地調査を行いました。
この調査結果を基に、ヒヤリハット図作成を行うとともに、具体的な対策や要望活動を実施します。

「竹ぼっくりづくり」「ビンゴゲーム大会」で地域のお年寄り と小学生そして父兄が楽しい半日を過ごしました。
また、豪音を発する昔懐かしいポン菓子作りの実演も行い、参加者に振るまわれました。



おじいちゃんに作ってもらった竹ボックリ

広範な分野にわたって計画策定が行われたので、事業選定に悩みましたが、地域の絆が基本であるということから、初年度は高齢者と小学生の交流事業を実施しました。神社小学校において、三世代交流事業として、

人にやさしい
まちづくり委員会